

# 地区コミュニティ別居住地域再生の基本的考え方

(下矢作、竹駒、今泉、長部、高田、米崎、小友、広田、生出、矢作、横田)

## 下矢作地区

### ■基本的考え方

#### 防潮堤 防潮堤・水門は12.5mで整備

- 高田沖に防潮堤・河口水門を12.5m(既存防潮堤は5.5m)で整備。
- あわせて気仙川河川堤防の改良整備を促進。

#### 住宅 地元意向踏まえた住宅再建 → 現位置での住宅再建、高台移転とも可能

- 防潮堤・河口水門整備により、家屋が全壊する危険性が少なくなることから、現位置での建て替えが可能である。
- 一方、地区意向調査結果で挙げられた移転候補地を基本に以下の条件を考慮して高台の移転候補地を選定した。
  - ① 埋蔵文化財(散布地除く)、景観、自然環境保全上重要な箇所(目につきやすい斜面等)、急傾斜地、保安林等を避ける。
  - ② 1宅地面積:400㎡程度。

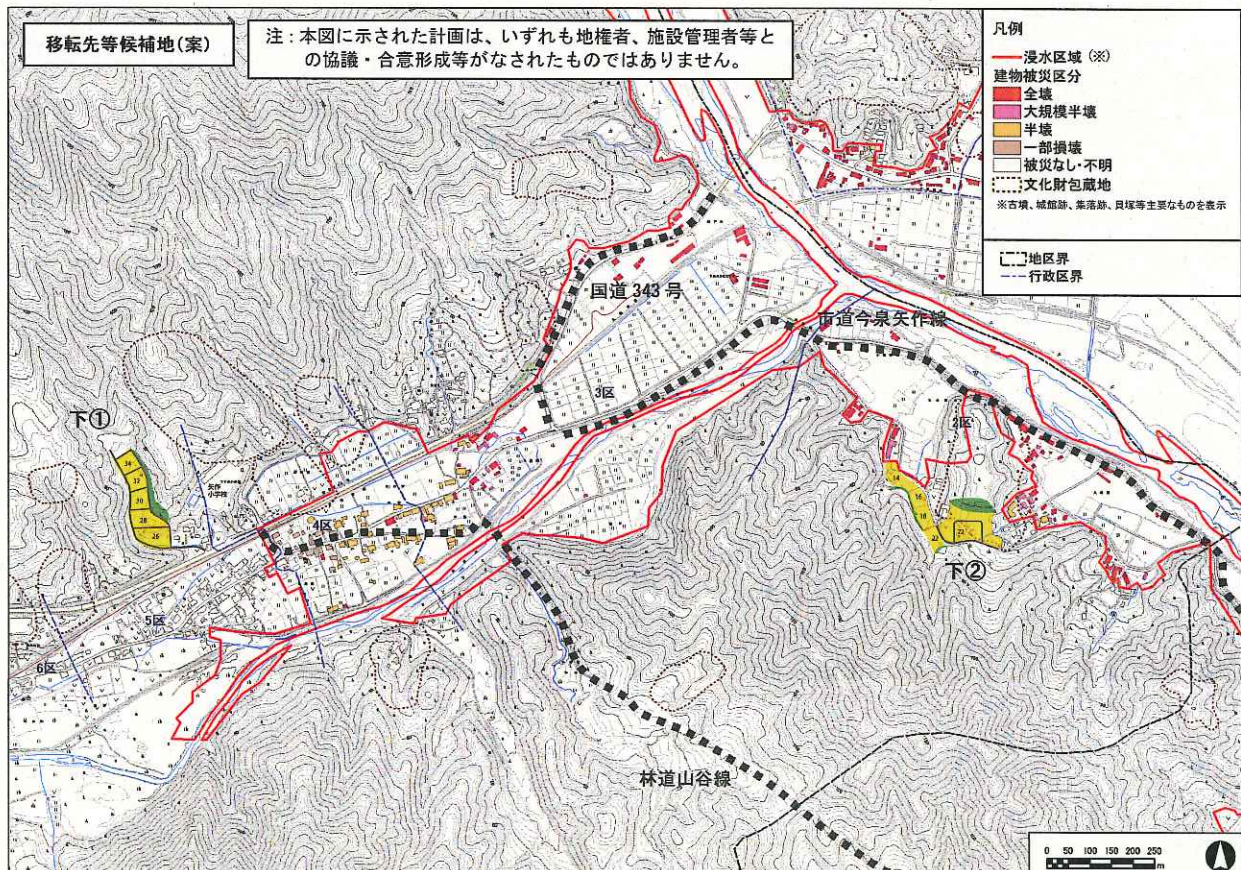
#### 道路 災害時の骨格道路として機能するよう国道343号を一部改良

- 国道343号の一部区間(廻館橋以西)の嵩上げを要望。
- 市道今泉矢作線、林道山谷線の改良。

表 地区意向調査結果 ※6月27日市民意向現地調査結果

区	戸数	全半壊戸数	必要宅地面積(ha)	主な内容			移転先(案) (番号は下図と対応)
				住民の意向	移転候補地の情報	その他	
1区	29	0	0.0	(被害なし)			
2区	32	26	1.5	・高台移転の候補地を確保したい	・大嶋部と小嶋部の境界付近		下②(高台)
3区	33	19	1.1 ※	・2~3世帯が高台移転を希望	・元自動車学校候補地		下①(高台)※
4区	36	15	0.9 ※	・現位置で住宅再建したい方が多い		・仮設住まいの長期化を防ぐ(早期高台移転)	下①(高台)※
5区	49	0	0.0	(被害なし)			
6区	67	0	0.0	(被害なし)			
7区	65	0	0.0	(被害なし)			
合計	311	60	3.5				

(備考)必要宅地面積=全半壊戸数×400㎡/戸÷(1-公共用地率(0.3))



※本図に示した浸水区域は、現在作業中のものであり、実際と異なる場合があります。

※平成23年11月10日現在のものです。